

自然環境保育

ネイチャーウォーク「初夏の森」

晝間 初枝（四街道市）

日 時：2025 年 5 月 29 日（木）9:30～11:00、天候：うす曇り

場 所：八千代台北こどもの森

参加者：ChaCha Children Yachiyo 5 歳児 28 名 保育士 4 名

担当指導員：小川 渡辺 晝間 参加指導員：山口 川瀬

暑すぎず、活動には絶好の日和。木の葉が色濃くなる初夏の八千代台北こどもの森で「葉っぱ」をテーマに 3 つの自然遊びを展開しました。保育園から歩いて 25 分、年長組のかわいらしい 5 歳児たちが元気に到着。挨拶、体操のあとには、森の危険な生き物について先生から大切な話を聞き、いよいよ森遊びの始まりです。

遊び 1：じゃんけん葉っぱ拾い

二人でじゃんけん、勝った方が葉っぱが拾う遊びです。相手を次々と替えてじゃんけんを繰り返して、簡単で楽しい雰囲気づくりにぴったりの活動です。拾った葉っぱを数えたあと、シートに並べて仲間分けしたり、特徴を観察したりして楽しみました。

遊び 2：葉っぱ合わせ

葉っぱカードを首から下げて、森の中の木の葉っぱとカードの絵を照らし合わせる遊びです。最初は森にたくさんあるイチョウ。コルク層のごつごつした樹皮に触れたり、葉っぱを探したりしました。「わかった！見つけた！」と子どもたちはすぐにカードの中のイチョウを見つけ、「この木の葉っぱはどれかな？いち、に、さん！」のかけ声で一斉にカードを差し出しました。「スカートみたい」「チョウチョだよ」「うちわみたい」など葉っぱの特徴が次々と出てきました。先生が「葉っぱ図鑑」でイチョウのページを開き、全員で葉っぱの説明を読み合わせました。クヌギは葉の縁にギザギザした鋸歯があるのが特徴で最初は迷っていた子も全員葉っぱカードと合わせることができました。クマシデは整った葉脈の美しさやぶらぶらと揺れる大きな実に触れる体験も。モミジでは葉の間にあるプロペラのような実にも気づくことができました。途中、ミズとワラジムシを見つけた子どもたちは、しばらくはくぎ付けになりました。最後に時間ぎりぎりまでビワの木のもとへ。大きな葉っぱに触れて「ふわふわしている」と感触を楽しみました。冬に咲いた花のあとには小さい実がびっしりついていて、お気に入りの木になりました。あっという間に時間が過ぎて、いろいろな木の葉っぱがあったことを全員で振り返りました。

遊び 3：草花で色ぬりえ

絵カードに草花で色をつける遊びです。「柔らかい葉っぱでこするといいよ」と子どもたち同士で声をかけ合いながら、少しずつ色を出すコツをつかみ、草花探しの範囲が広がっていきました。中には、こすっているうちに色が変わる草花もあり、子どもたちは夢中になって採ってはこすり、採ってはこすり…。最後には色つけた絵カードを見せ合い、初夏の森で葉っぱとのふれあいを十分楽しみました。



この木の葉っぱはどれかな？



葉っぱ図鑑で調べよう



草花で色ぬり楽しいね